



みんな
ながよし
明石台わか葉保育園

2p ... 市制移行に向け本格始動
市制移行関連予算 1億4,252万円

4p~... 「住みたくなるまち日本一」
町長施政方針及び所信表明

15p~... 町政を問う
一般質問

26p~... よりよい町づくりのために
委員会報告

29p ... 意見交換会を開催しました
平成27年3月26日開催

とみ やみ だより 議会

No. 169

2015年(平成27年)
5月1日発行

発行責任者/富谷町議会議長 編集/議会広報調査特別委員会
〒981-3392 宮城県黒川郡富谷町富谷字坂松田30番地 Tel.022-358-0622

ホームページ

富谷町議会

検索



平成27年第1回定例会は、2月23日から3月17日までの23日間の会期で開かれました。

今定例会は、2月8日執行の富谷町議会議員補欠選挙で選ばれた2人が出席し、出席議員20人で開会されました。

開会初日に、若生裕俊新町長は、「住みたくなるまち日本一」のスローガンを掲げ、市制施行と富谷のさらなる発展に向け、取り組んでいきたい」と表明しました。

今回、町長から提出された議案は、平成27年度一般会計予算及び各種会計予算、26年度及び27年度補正予算、介護保険条例の一部改正等38議案、また、議員発議の2議案も可決されました。

一般質問は、14人が質問し、町政について論戦を展開しました。



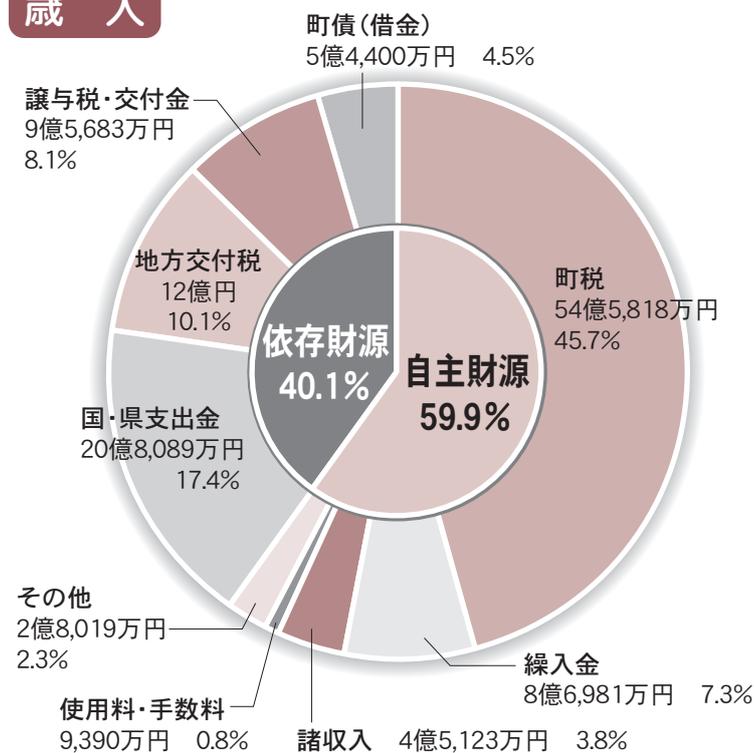
市制移行に向け本格始動

市制移行関連予算 1億4,252万円

総額 198億7,333万円

※一般会計及び各種特別会計の合計(水道事業会計をのぞく)

歳入

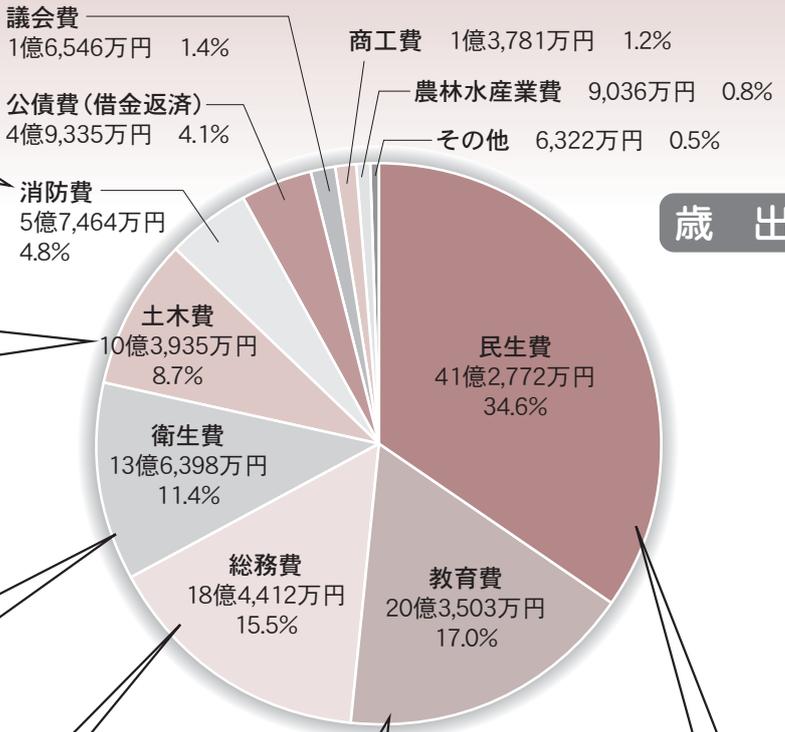


平成27年度 各種会計予算状況

会計別		予算額	
一般会計		119億3,500万円	
特別会計	国民健康保険特別会計	44億9,810万円	
	介護保険特別会計	22億9,856万円	
	後期高齢者医療特別会計	2億8,472万円	
	下水道事業特別会計	8億5,695万円	
水道事業	収益的支	収入	11億7,670万円
		支出	10億7,366万円
	資本的支	収入	3,000円
		支出	1億1,082万円

一般会計 119億3,500万円

歳出



消防費

- 黒川地域行政事務組合(消防)負担金 5億3,370万円
- 消防団員設置・運営事業 1,757万円
- 災害対策費 1,400万円

土木費

- 町道維持管理事業 1億3,497万円
- 一般公園維持管理事業 1億 966万円
- 側溝整備事業 9,258万円 (太子堂地区・富ヶ丘地区・鷹乃杜地区)

衛生費

- 松森工場共同整備事業 2億5,089万円
- 一般廃棄物収集運搬処理事業 2億 431万円
- 住民検診事業 1億8,716万円

総務費

- 電算システム整備・改修 1億4,074万円
- 基幹系システム運用事業 9,180万円
- マイナンバー制度対応事業 7,754万円

教育費

- 学校給食センター運営・維持管理事業 4億8,873万円
- 町立小学校運営・維持管理事業 1億9,332万円
- 幼稚園就園奨励費補助事業 1億3,257万円

民生費

- 介護保険特別会計繰出金 3億3,727万円
- 障害者自立支援給付事業 2億9,114万円
- 子ども医療費助成事業 2億1,000万円

市制移行に伴う経費 (平成27年度当初予算)

経費別	予算額
電算システム整備・改修に要する経費	1億4,074万円
福祉事務所設置に要する経費	68万円
市制移行啓発に要する経費	34万円
市制移行申請に要する経費	76万円
合計	1億4,252万円

平成27年度の一般会計予算は、前年度比13.4%減の119億3,500万円です。

歳入の減額の主な理由は、明石台小学校新築等事業債と明石台小学校放課後児童クラブ新築事業債の減で、町債が前年度比70%減の5億4,400万円になりました。

歳出の減額の主な理由は、小学校建設費の減額で、教育費が前年度比50.5%、20億7,559万円の減になりました。

国民健康保険特別会計は44億9,810万円と、前年度比5億8,970万円の増となりました。

介護保険特別会計は2億9,856万円です。前年度比13.3%、2億7,049万円増と高い伸びになっています。

下水道事業特別会計は8億5,695万円で前年度比3.1%、約274万円の減となっています。

後期高齢者医療特別会計は2億8,472万円です。前年度比3.7%、約102万円の増となっています。

予算解説

「住みたくなるまち

日本一」

施政運営方針と所信表明概要

今、富谷に住んでいる人たちが住みやすい町にしていかなければいけない。そのために、町民の皆さま方の声が届く町政を心がけてまいります。

対話力を通じて議論し、積極的に意見交換をし、声が届くと町に届き、富谷町に住んで良かったと思える「住みたくなるまち日本一」の実現に向けて努力してまいります。

◆子育て支援について

子ども医療費助成の対象年齢を18歳までに拡大、本年10月から実施。

◆地域福祉について

第6期介護保険事業計画の介護保険料基準額は、要介護認定者の増加や施設の充実等により、月額5590円に決定。

◆企業誘致について

高屋敷工業用地に進出

の米国系の倉庫型量販店コストコは、28年春のオープンで、約3000人から4000人の地元雇用を予定。

◆居住環境について

LR Tなどの新しい公共交通の整備に向けた調査研究を積極的に進める。

◆住民参加・住民協働について

皆さまの声が届く町政実現に向けて「わくわく町民会議」を開催。

◆行政運営・財政運営について

地域緊急消費喚起として、「プレミアム付商品券」を発行。プレミアム率は30%で、販売額1万円とし、使用は1万3000円。消費喚起想定額は約2億円以上を。

あれはこれは どうなの

町民の皆さまの関心が高い項目を、予算審査特別委員会の質疑から、要約し、掲載しました。

☆泉中央からの地下鉄

延伸は？

「ライトレール(LRT)計画」
仙台市地下鉄泉中央駅からの鉄軌道延伸

☆町政に町民の声が届くのか？

「わくわく町民会議」

町民皆さまの声が届く町政の実現

☆子ども医療費助成の拡大は？

「18歳まで医療費助成の拡大」

現在、中学生まで実施している子ども医療費助成の拡大

☆放課後の子どもたちの居場所とは？

「放課後児童クラブの学校敷地内設置」

本年10月から実施を予定していた学校敷地内放課後児童クラブの見直し

ライトレール計画

町長

「住みたくなるまち日本一」の実現に向けて、市制施行を踏まえた都市的機能の強化に向けて、LRTなどの新しい公共交通の整備に向けた調査研究を、積極的に進めてまいります。

問 ライトレールの推進事業の経費で、142万円の内容は。

答 ライトレールの先進地視察で、町長や関係者の旅費と「緑の未来都市くろかわ建設推進協議会」で行った報告書の再検証の経費です。

問 町民の期待も高いですが、難関が予想されます。しっかりした予算づけをしては。

答 かねてから、地下鉄の延伸という言葉でご意見を伺っています。どうすれば可能になるのか、あらゆる手法で検討をし、必要であれば予算要求を提案したいと思えます。

問 ライトレールの推進は、住民の合意が得ら

れておらず、まだ意見が分かれていると思います。推進の前に、住民の意見を聞き、合意を図っていくことが大事では。

答 交通問題は富谷町にとって極めて重要な施策だという認識です。さらに未来へ向かった公共交通環境を整え、公共交通のあり方のグランドデザインの策定を目指すといった基本方針を踏まえ、皆さまにお示しをし、取り組んでいくべきものと思えます。



わくわく町民会議

町長

町民皆さまの声が届く町政の実現に向けて、「わくわく町民会議」を開催してまいりますと思います。
町民の皆さまから多くの声を頂きながらよりよいまちづくりを展開してまいります。

問 わくわく町民会議の内容は。

答 例えば、子育てであれば、その専門的にお話しただけの方をお招きして、助言者に発言も求めながら、皆さんのご意向を伺って、いろいろ町政に反映していくことを想定しております。

問 テーマと開催数は、どうなりますか。

答 町政に極めて重要なものを中心にあります。地方創生、子育て世代の皆さんへの支援などのテーマで、10回ほど予定しています。

問 いつからの開催になりますか。

答 新年度に入り早々、初回のテーマを絞らせていただいで、5月ごろからの予定です。



問 わくわく町民会議も必要ですが、もっと広く住民懇談会のようなものを数多く実施することは必要ではないですか。

答 専門家の皆さんのご意見も踏まえながら、町民の皆さんと行政が、共通認識を図りながら未来へ向かっていくことを想定しています。

18歳まで医療費助成

町長

「対象年齢を拡大してほしい」との声が多く、対象年齢18歳までの拡大を、本年10月の実施を目指して、準備手続きなどを本格的に進め、今後の補正予算で対応したいと考えています。

問 18歳までの拡大、すばらしい決断だったと思います。しかし、このことは、国なり県の話と違います。県では、全国でも最下位の助成のようです。何か具体的な提案が必要と思いますが。

答 本来、市町村ごとに、それを対応するべきではなく、国なり県で子育て支援というところで考えていくべきことだと思えます。力を合わせて国なり県に働きかけたいと思っています。

問 子ども医療助成費予算額ですが、26年度時点でも中学校までの助成で、2億3000万円という試算が出ています。今回の補正予算でも、2億4200万円に増額されています。

答 それなのに、27年度予算は2億1000万円と26年度より低い予算なのか。後で、補正する考え方はいかなものかなと思います。

問 不確定要素というところで、前年度並みの金額設定としました。

答 それなのに、27年度予算は2億1000万円と26年度より低い予算なのか。後で、補正する考え方はいかなものかなと思います。



放課後児童クラブ

町長

明石台小学校の敷地内にはじめて専用施設を設置し、本年4月からスタートします。小学校4校については、事業の実施方法等を見直し、施設整備の実施時期も含めて再検討をします。

問 あけの平小学校・東向陽台小学校・成田東小学校・富ヶ丘小学校については、平成27年4月1日以降、従来どおり公民館で行うということになりますか。

答 そういうことになるかと思えます。

問 いつ頃からになる予定ですか。

答 なるべく早い実施を目指して検討しているところですが。

問 今回、小学校4校におきまして、一旦、再検討となりました。理由は、クラブの建物がプレハブだからということですが、今後の考え方は。



問 東向陽台小学校の既設のプレハブを使って、活用できないですか。

答 今後検討させていただきます。

問 児童指導員の予算額6500万円は何人分ですか。

答 全部の児童クラブ合わせて64人です。

答 今後に向けて児童館の設置も視野に、プレハブではないという方向も含めて、検討していくという

27年度予算質疑

27年度の一般会計、各種特別会計および企業会計については、予算審査特別委員会を設置し、慎重に審議しました。主な質疑の内容を要約してお伝えします。なお、特に町民の関心の高い項目を、4〜5ページに掲載しています。

一般会計

緊急放送

問 震度5弱以上の地震速報は、自動放送ですか。
答 国との直結で、緊急放送を行います。

防犯カメラ

問 今後のカメラ設置場所の予定は。
答 成田地域をモデル地域として、通学路等を考えています。

町内会館 新築工事

問 工事費5959万円とありますが、追加で2棟目を考えていますか。
答 志戸田会館のほかに、あけの平コミュニティーセンターの改修工事を進めています。

十三夜魂の ふるさとまつり

問 運営事業として989万円計上されていますが、整理し、シンプルに祭りにするべきではないですか。
答 ふるさとまつり実行委員会の、ご意見を踏まえ今後検討します。

地方創生

問 全体の事業の目的と町としての具体的な事業内容は。
答 商工会に委託して、プレミアム商品券の発行を行います。そのほかに、企業誘致の基礎調査、5力年間の推進計画をつくり、国に提出します。

市制移行

問 これまで、市制移行日を平成28年4月1日で、町民の皆さんに周知してきました。新町長になって、平成28年秋以降に修正されましたが、住民への説明が必要ではないですか。
答 県と協議をしていますが、県議会の議決等、期間を要することも見えてきました。今後、広報やわくわく町民会議の開催等で、皆様に周知をしていきます。

子育て支援

問 町立幼稚園の授業料が906万円計上されていますが、これは本年4月1日の制度改正前の予算計上ですか。
答 4月1日からの利用者負担金ということで暫定的に計上しております。現在も第1子、第2子、第3子という形で授業料をいただく予定にしています。この予算措置の段階で、利用料を6000円から一定の所得にに応じた減免を行うということで算定しています。

マイナンバー制度

問 制度対応事業7754万円の事業内訳は。
答 住基ネットの改修、団体内の統合、宛名システムの設置、及び介護保険と後期高齢システムへの適用作業等が含まれています。
問 運用開始までのスケジュールは。
答 10月に個人番号の通知をし、来年1月から運用が開始されます。



明石台小学校 周辺の交通対策

問 横断歩道などの学校周辺の交通整備は、どうなっていますか。
答 昨年から教育委員会、準備委員会、地域の皆様、学校の関係者、町当局でいろいろ審議をし、横断歩道及び一時停止等は大



大黒澤苑

問 大黒澤苑の利用件数利用者数は。

答 平成27年2月までで、75件1371人です。

25年度の利用実績は72件1158人でしたので、既に前年度を上回っています。

問 利用件数が、なかなか伸びてこないというような現状ですので、大黒澤苑を明石地区の町内会館として、使用できないかと思えます。町内会の管理とすれば、当然経費の面でも浮いてくると思

高齢者福祉

問 長寿社会福祉基金繰入金467万円を高齢者の予防事業に充当するということですが内容は。

答 介護保険の総合事業に移行するのが平成29年目途となっています。そのためモデル事業として、サロンの集まりの事業です。また、要支援

いますが。

答 大黒澤苑を町内会館として活用するという案は大変有効な案だと認識をしました。

学校給食センター

問 学校給食センターの賄材料費が、3億1500万円ほどですが、この中で、地場産食材の給食センターへの納品の品目と数量は。

答 27年1月末現在で、大根1106kg、タマネギ243kg、白菜1502kg、ジャガイモ82kg、ブルーベリー33kg、リンゴが435個です。

問 食育に地場のものをどんどん取り入れられるように、全体的に町がコーディネートしながら生産者に要望をしていくことについて検討は行われましたか。

答 具体的に検討はしていませんが、いつ頃どういったものが出るのか、具体に見えてくれば話もできるのかなと思います。

新商品開発

問 新商品開発をくろかわ商工会富谷事務所に委託していますが、売上額は。

答 すべてを把握していませんが、ブルーベリーの和菓子、月平均50個程度。腸詰めソーセージが10万円くらいです。

問 この3年間だけで、開発費用に、公金を2000万円ほど投入しています。当然、町は、売上げを把握するべきではないですか。

答 毎年把握に努めてまいりたいと考えています。

側溝のふた掛け

問 27年度は太子堂が236m、富ヶ丘が260m、鷹乃杜は170mの予定ですが、整備区間を延ばせないですか。

答 予算の問題もありますが、努力します。

問 この3地区の未整備区間は。

答 太子堂は残り2.1km、富ヶ丘は残り8.9km、鷹乃杜は残り9.3kmです。

補助金

問 企業への補助金は。

答 企業立地促進奨励金は、東洋刃物が410万円、鴻池運輸は228万円、雇用促進奨励金は東洋刃物、鴻池運輸とも30万円を予定しています。

町道深苗代線改良工事

問 道路が狭く、路肩や土手が崩れているところもあり、非常に危険です。27年度に改良工事を進めるべきでは。

答 28年度以降に、工事

防犯灯

着手と考えています。
問 改良工事費用は。

答 2000mの整備に、4000万円ほど必要です。

問 防犯灯整備事業で、昨年より1000万円増えています。理由は。

答 主に、電気料の値上がりによるものです。

問 防犯灯の今後の電球交換はLEDですか。

答 古くなつての交換や新設は、ほぼLEDにしています。



水道事業 (企業会計)

問 県の給水単価が下がった理由は。

答 高利率企業債の繰上償還、借りかえによる支払利息の軽減と、企業債元金償還の低減が要因です。

問 給水量が減少傾向にあるのはなぜですか。

答 節水型の洗濯機やトイレ、また、食洗機と無洗米の普及などによるものと思われま。

問 上水道の料金設定は県内何番目ですか。

答 県内事業体33のうちで3番目に安い料金設定となっております。

問 長期前受金戻入の内容は。

答 法改正により、減価償却費の一部です。

問 企業債利子補給は、一般会計から支出という取り決めはありますか。

答 取り決めはありません。

問 28年度予算からは、一般会計から補助なしで運営できるのでは。

答 施設の老朽化も考慮し今後、財政課と協議します。

特別会計・企業会計

国民健康保険

問 共同事業の拡大で予算額が増えています。

答 すべての医療費を県内市町村国保で共同化しましたが、保険料の算定には影響はありません。

問 国保税が26年度から引き下げられました。

答 平成25年度で県内で高いほうから7番目です。もっと下がる見込みはありません。

問 26年度引き下げたので、下がると思われます。元気で過ごしたい、病気になるための保

健事業として、今回予算化されたものは。

答 脳血管元氣教室です。特定保健指導には該当しないが、例えば高血圧とか血糖値とか、たばこも加えて、健康リスクが高まってくるような方々を中心に案内した事業です。

問 国保税1人あたりの平均額は。

答 27年で、9万6320円です。

問 世帯あたりでは、いくらになりますか。

答 世帯あたりは、17万1015円です。

下水道事業

問 下水道使用料は、前年度に比べて減少していますが、上水道水量との関連性は。

答 町民皆様の節水への取り組みと節水型洗濯機・トイレ等の普及で減ったと推測します。

問 下水道特別会計の繰入金は、使用料と事業債を借り入れて、不足した分を一般会計からの繰り入れとなるのですか。

答 それで間違いありません。

問 これからの一般会計の負担増が、非常に心配

されますが、どのように考えていますか。

答 財政課と協議し、工事内容、補助事業などで調整するしかないと思っています。

問 使用量が減少傾向にあると思われませんが、5年間の事業計画内に、料金の引き上げは考えられますか。

答 25年の料金比較では、35市町村のうち7番目に安い料金を維持し、今のところ料金の引き上げは考えていません。

問 保険給付費の居宅、地域密着型、施設介護サービス給付については。

答 26年度の実績で、在宅の方が107%ぐらいの伸び、施設が80%弱となっております。居宅と地域密着型のところを増やします。

問 要介護認定調査において、認定者は増えていきますか。

答 高齢者人口が伸びていきます。要支援・要介護認定者も増えている状況で、今年度は1495件を予定しています。

問 介護予防のモデル事業を考えていますか。

答 一般会計では、元氣な高齢者、サロンの希望者などをカバします。特別会計では、筋トレなどの必要な方というように、重層的に考えています。

介護保険

待機児解消 奨学金などに課題

反対 永野 久子 議員

子ども医療費の18歳までの助成拡大や敬老乗車制度実現など、住民に希望と元気を与える施策は評価できるものです。

しかし、子ども医療費助成の所得制限が残され、国の言うままに意図的に待機児を少なく見せるやり方を導入するなど問題です。また、奨学金制度の連帯保証人を「町内」に在に限定するのは、全国からの転入者が多い町の姿勢として閉鎖的です。学校給食の地産地消を進め、農水予算をせめて予算全体の1%以上に引き上げるなど、安全・安心の農業振興を求めます。

討論

一般会計

社会の要請に バランスを考慮

賛成 小泉 光 議員

27年度予算は、歳入で町税は26年度比較で1億8400万円余の増加、国庫支出金は明石台小学校の建築終了により2億

6000万円余の減、また、町債も5億4400万円の減です。歳出では、明石台小学校の建築終了により、大幅な減となりましたが、総務費において市制やマインナー制の準備のため、約1億9000万円の増、民生費は社会福祉費の増加により約1億5000万円の増です。社会の要請に応えたバランス良い予算と見受けられます。賛成します。

国保の基金使い 国保税引き下げを

反対 佐藤 聖子 議員

2回の国保税率改定によつて、昨年度は収納率86%が、今年度は90%と見込んでの予算編成になりました。国保基金1億

8824万円を繰り入れ、基金残高は9億8000万円です。富谷町国保加入の1世帯あたり平均所得額は、平成26年で135万8938円、国保税は17万1015円で、国保税の負担は重いと言えます。町長は、所信表明で国保税引き下げの検証を進めたといっています。基金を使い、さらに国保税を引き下げ、加入者の負担を軽減すべきです。

討論

国民健康保険特別会計

保険税下げ2年目 健全財政に努力

賛成 出川 博一 議員

平成26年度国保税引き下げを実施し、2年目となる平成27年度予算は、対前年度比ほぼ15%増と大幅な伸びとなりました。

これは80万円以下の医療費が、県内市町村国保による共同事業の対象に拡大されたことに伴うものです。国保財政調整基金から1億8824万円を繰り入れての財政運営となりました。今後とも特定健診、各種がん検診等へのきめ細かな助成及びデータ活用による効果的な保健指導に努め、更なる被保険者の健康増進に取り組むことを期待します。

介護の公的給付削減 自己責任徹底

反対 佐藤 聖子 議員

この予算は、介護保険料の基準月額引き上げを前提にしたものです。政府は、介護保険開始から15年目で公的給付を

削減し、介護の自己責任を徹底する大幅な見直しを行います。訪問介護を市町村に移管し、介護保険サービスを縮小させ、特養ホームの入所を介護度3以上にして特養から締め出し、待機者リストからははずすことなどが盛り込まれています。富谷町の特養ホーム待機者は107人であり、自宅での生活は困難という人たちのために、一日も早い整備を求めます。

討論

介護保険特別会計

事業は高齢者福祉の 向上に寄与

賛成 森 栄 議員

この予算で、富谷町高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画が策定されます。制度改正で、地域包括ケアシステムの

構築がなされ、①認知症施策の推進 ②地域支援センターの機能強化 ③生活支援サービスの充実 ④介護予防の推進 ⑤医療・介護連携の推進が図られます。また、保険料軽減の導入や多段階階化で、負担の軽減が図られます。今後、高齢者の要支援・要介護認定者、認知症の有病率などが増加するので、介護保険の各事業は、高齢者福祉の向上に寄与するので、賛成します。

介護保険条例の一部改正 施設整備 28年度に前倒し

おける第1号被保険者の介護保険料等を改定するものです。

また、地域支援事業費は、介護予防事業や生活支援サービス、包括的支援事業に関する費用となるために、介護保険料額等の改定を行うものです。

65歳以上の第1号被保険者が負担する介護保険料は、3年間の介護保険事業運営期間を通じて財政が保たれるように設定されます。

第1号被保険者の保険料基準年額を試算したもので、保険給付費の総額を推計して、第1号被保険者の保険料基準年額を算出しています。富谷町の介護保険料は、第1段階の3万3600円から第12段階の15万1000円に区分されます。

町では介護保険事業計画におけるサービスの見込量などに基づく給付水準の見直しに加え、一般の制度改正や特別養護老人ホーム・グループホーム・小規模多機能型の施設整備及び新たな包括支援センターの設置を踏まえ、27年度から29年度に

なお、第1段階の生活保護受給者等や第2段階の低所得者等は、国の標準割合よりも負担割合がそれぞれ少なく、負担が軽減されています。この条例は、平成27年度分の介護保険料から適用されます。

介護保険料 開始時の2.5倍にも

反対 佐藤 聖子 議員

平成27年度から29年度までの、第1号被保険者保険料と介護予防・日常生活支援事業等に関する

経過措置を定めるもので、保険料を12段階に増やしました。低所得者には一定の配慮がされましたが、基準月額を4826円から5590円とし、764円値上げします。介護保険開始時の2.5倍にもなり、とてもこの値上げは認められません。

介護予防の今回の改定は、要支援1・2の人たちが多く利用する訪問・通所介護サービスを介護保険から外すもので、質の低下は否めません。

保険給付は 高齢者福祉の向上に寄与

賛成 森 栄 議員

この条例は、富谷町高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画に基づき、平成27年度から29

年度までの各年度における介護保険の保険料を、被保険者の区分に応じて改定することなどを定めたものです。地域支援事業費は、介護予防事業や生活支援サービス、包括的支援事業に関する費用となるため、介護保険の保険料の改定を行うものです。介護保険事業の長期的な財政安定と介護保険サービス事業の反復・継続的な保険給付により、高齢者福祉の向上に寄与するので、賛成します。

討

論

企業立地推進条例の改正 積極的な 企業誘致を目指す

企業立地の促進を図るため、新たな奨励金交付制度創設のほか、所要の改正を行うものです。

現在の企業立地促進奨励金、雇用促進奨励金に加え、特定区域に立地した企業に対して、新たに

用地の取得に要した費用の15%に相当する額(上限を1億円)を交付する用地取得奨励金を設けます。特定区域として、高屋敷地区を規定する予定です。

企業立地促進奨励金の交付額の算定にあたっては、富谷町復興産業集積地域における固定資産税の課税免除に関する条例による課税免除を除くものとする旨、規定しています。

Q 高屋敷工業用地への誘致は何社を見込むか。

A コストコを除くと、約6.4haなので、3〜4社と見込んでおり、具体的に1社、2社に検討していただいています。



▲ 高屋敷工業用地

工場敷地に占める 緑地の面積が 変わります

地方公共団体が、復興特別区域の復興産業集積区域で行う「復興産業集積事業」を盛り込んだ「復興推進計画」を策定し認定を受けた場合、緑地及び環境施設の敷地面積に占める割合を、市町村の条例により定めることができます。

緑地面積率が、工場立地法で20%以上です。条例による規制緩和内容は、10%以上となります。

環境施設面積率（緑地面積率含む）は、工場立地法で、25%以上ですが、条例で、15%以上となります。

「閑静な住宅地」の イメージ壊す

反対 永野 久子 議員

町当局の説明によると、本案は「企業の負担軽減」のための規制緩和であり、立地企業に課せられる緑

地面積が従来の6分の1に、環境施設面積が4分の1に減少します。これは住民との共存や持続可能な開発という点から見て、将来に大きな禍根を残すものです。

企業誘致自体を否定するものではありませんが、東日本大震災からの復興を口実にした災害便乗型経済政策であり、規制緩和によつて「閑静な住宅地」としての本町の大切なイメージが損なわれることを懸念します。

工場等の適切な環境保全是 保持される

賛成 森 栄 議員

この条例第3条では、区域の範囲及び緑地並びに環境施設の敷地面積に対する割合について、緑

地面積の敷地面積に対する割合は、100分の10以上です。また、環境施設の面積の敷地面積に対する割合は100分の15以上です。この条例により、工場等の立地に係る緑地面積率等が緩和されることとなります。工場等の適切な環境保全是保持されつつ、高屋敷工業団地における今後の企業誘致に弾みがつき、地域の活性化と地域経済効果が図られ、町の発展にも寄与するので、賛成します。

討

論

森栄議員に 再度 辞職勧告

再度 辞職勧告

泥酔状態で医師等に暴言を吐くなどの不祥事案を起こし、虚偽弁明をしたとして、富谷町議会は、平成26年第4回富谷町議会定例会において、森栄議員に対する辞職勧告を全会一致で決議しました。

森栄議員は、辞職勧告決議前の議員全員協議会を届出なしで欠席するなど、置かれている状況を自覚しているとは思えない行為に及び、辞職勧告の受け入れも拒んでいます。

町民各位の理解が得られるとは到底思えません。このような状況が続けば、決議した富谷町議会も有権者からの責めを負うことにもなります。

よつて富谷町議会は、森栄議員が町議会議員の職を辞することを、再度強く勧告する決議を、全会一致で可決しました。

陳情書

○地方教育行政法の改正にともなう
教育委員会制度改革に関する陳情書

民主教育をすすめる
宮城の会より

○人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を
求める陳情書

在日本大韓国民団
宮城県地方本部より

すべて議員配付となりました

医療費助成拡大

子ども医療費の助成に関する条例の改正

富谷町子ども医療費の助成に関する条例の一部改正については、子どもに係る医療費の一部を助成することにより、子ども

の適正な医療機会の確保及び子育て家庭における経済的負担の軽減を目的とした制度のさらなる拡充を図るために改正されました。

この条例は、平成27年10月1日から施行されます。そのため本年10月実施を18歳までに拡大した場合の試算については、入院外の件数は15万7997件で、金額は2億502万円です。入院の件数は634件で、金額は2446万円です。



なお、2分の1を助成している食事療養費の件数は514件で、金額は53万円です。これらの合計件数は15万8631件で、合計金額は2億2999万円です。

補正予算

3割増し商品券発行『わくわくとみや商品券』

平成26年度一般会計補正予算の歳入では、27年4月から開始する「子ども・子育て支援制度」に伴い、保育所緊急整備事業に432万円、家庭の保育事業に966万円、認可化移行総合支援事業に1505万円、保育士等処遇改善事業に345万円が計上されました。

また、平成27年度一般会計補正予算では、子ども医療費助成拡大事業に774万円が予算計上され、原案可決しました。

●●● 主な使いみち ●●● (平成26年度)

- プレミアム付商品券発行事業 5,660万円
- 町道除融雪事業 4,464万円
- 障害者自立支援給付事業 4,015万円

●●● 主な使いみち ●●● (平成27年度)

- 子ども医療費助成拡大事業 774万円

祝

全国町村議会議長会
宮城県町村議会議長会

自治功労表彰



渡邊俊一 議員



細谷禮二 議員



佐藤聖子 議員

2月13日、全国町村議会議長会、ならびに宮城県町村議会議長会から、佐藤聖子議員、細谷禮二議員、渡邊俊一議員が表彰されました。町村議会議員として15年以上在職し、地方自治の振興発展に功労があったと認められたものです。

富谷町議会議員 補欠選挙



齊藤秀行 議員



長谷川る美 議員

富谷町議会議員補欠選挙が、2月8日に行われました。その結果、無所属の新人で、長谷川る美氏と、齊藤秀行氏が初当選されました。翌日、当選証書付与式が行われ、富谷町議会議員は、定数どおり20人となりました。議員の任期は、前任者の残任期間となり、他の議員と同じく平成27年9月10日までとなっています。

東日本大震災犠牲者の方へ 黙とうを捧げました

「東日本大震災犠牲者の方へ黙とうを捧げました」東日本大震災から4年。

今も、23万人の方が余儀なく避難生活を強いられ、そのうち10万人が仮設住宅に暮らし、厳しい生活をおくっています。暮らしの再建の遅れが目立ち、深い悲しみが癒えるには、まだまだ時間がかかりそうです。

3月11日14時46分、富谷町議会では審議を中断し、犠牲になられた方々の御霊に復興を誓い、ご冥福を祈りました。私たち議員には、人間復興・心の復興を支え続けて、これからの防災・減災を進めていく責務があります。

一日も早い被災地復興と、希望の春の訪れを願うものです。



議員定数は
現状維持20人

富谷町議会の議員定数は、議員全員協議会で、議員全員から意見を聴取し、次に執行される町議会議員選挙は、現状の定数20人で行うことに決定しました。議員定数の意見として、現状維持が11人。増やすが3人。減らすが4人でした。今回の議員定数の決定に際して、「議会内での議論も大事だが、今後、住民からのアンケートなどを取り入れることも必要ではないか」との意見も出されました。

第 1 回定例会(2/23~3/17) 議案採決結果一覧

	議案	賛成	反対	議決結果	森	齊藤	高橋	小泉	菅原	出川	長谷川	三浦	浅野	安住	小川	細谷	佐藤	山路	磯前	渡邊	佐藤	永野	相澤	浅野	提案者
					栄	秀行	正俊	光	福治	博一	邦夫	直子	稔幸	昌義	禮二	克彦	清一	武	俊一	聖子	久子	榮	幹雄		
第 1 回定例会	富谷町東日本大震災復興特別区域法第28条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定	17	2	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—
	富谷町の地域包括支援センター事業における人員及び運営に関する基準を定める条例の制定	17	0	原案可決	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	富谷町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定	17	0	原案可決	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	富谷町企業立地促進条例の一部改正	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	富谷町行政手続条例の一部改正	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	富谷町個人情報の保護に関する条例の一部改正	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	暴力団の利益となる公の施設の使用等の制限に関する条例の一部改正	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	富谷町非常勤消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	富谷町介護保険条例の一部改正	15	2	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—
	富谷町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	17	0	原案可決	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	17	0	原案可決	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成26年度富谷町一般会計補正予算(第7号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成26年度富谷町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成26年度富谷町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成26年度富谷町介護保険特別会計補正予算(第4号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成26年度富谷町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成26年度富谷町水道事業会計補正予算(第3号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成27年度富谷町一般会計予算	15	2	原案可決	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—
	平成27年度富谷町国民健康保険特別会計予算	15	2	原案可決	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—
	平成27年度富谷町下水道事業特別会計予算	17	0	原案可決	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成27年度富谷町介護保険特別会計予算	15	2	原案可決	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—
	平成27年度富谷町後期高齢者医療特別会計予算	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成27年度富谷町水道事業会計予算	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	指定管理者の指定	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	富谷町道路線の廃止	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	富谷町道路線の認定	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	富谷町教育委員会教育長の勤務時間等に関する条例の制定	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	富谷町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の廃止	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	職員の給与に関する条例の一部改正	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	富谷町職員定数条例の一部改正	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	富谷町子ども医療費の助成に関する条例の一部改正	17	0	原案可決	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	富谷町保育所条例の一部改正	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	富谷町立幼稚園授業料徴収条例の一部改正	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
富谷町総合運動場条例の一部改正	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
平成27年度富谷町一般会計補正予算(第1号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
富谷町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	17	0	原案可決	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
富谷町議会委員会条例の一部改正	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
森議員に対する議員辞職勧告決議	17	0	原案可決	○	除斥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	

○賛成 ×反対

※議長(浅野幹雄)は採決に加わりません。また、今議会においては、3/16と3/17に議長の欠席により副議長(相澤榮)が議長を務めたため、採決に加わりません。

※除斥とは…議員は公正な立場で審議にあたるべきで、一身上に関する事件の場合は、その審議に加わらない。

一般質問

町政を問う

14人が一般質問

各議員が行った一般質問の概要を、16ページから25ページまで発言順に掲載しています。詳しくは、インターネット録画をご覧ください。

出川 博一 議員	16p
選挙で掲げた公約実現に向けた町長の決意は	
森 栄 議員	17p
政策が実現できない場合の町長の進退は	
山路 清一 議員	16~17p
町民バス泉中央など地下鉄駅まで運行せよ 副町長を早急に	
菅原 福治 議員	18p
仙台市並の敬老バスと土日夜間のバス運行を 肝炎の早期治療に行政と医療機関の連携を	
磯前 武 議員	19p
泉中央駅からライトレールの路線の延長は	
渡邊 俊一 議員	18~19p
地下鉄泉中央駅からの路線延長を問う	
三浦 邦夫 議員	20p
町長のマニフェストは本当に実現可能か	
小川 昌義 議員	21p
社会参加、外出支援に敬老乗車券 除雪機での通学路の除雪拡大を 情報化の専門組織づくりとクラウド化を	
浅野 直子 議員	20~21p
妊産婦から子育て支援までの取り組みを問う 緊急支援交付金の使い道について 防災の取り組みについて問う	
佐藤 聖子 議員	22p
子ども医療費助成は負担金・所得制限なしで 教育委員会制度の改定をどう考えるか	
長谷川る美 議員	23p
子ども子育て支援新制度の町の取り組みは	
永野 久子 議員	22~23p
敬老バスの28年度実施を求める 低所得者の国保税免除制度が必要	
佐藤 克彦 議員	24p
本町農業発展のための政策を問う 古い町内会館の建てかえは	
安住 稔幸 議員	25p
富谷出張所の救急隊の追加配備を 町長等の退職金は廃止または減額せよ 学校給食費を2人目は半額3人目は免除を	



出川 博一
議員

問 選挙で掲げた公約実現に向けた町長の決意は

答 公約の実現に向け最大限に取り組んでいく

今後の町政運営等について質問します。



問 今回の町長選挙に当たり、掲げられた諸項目の実現について、町長の決意を改めて質問します。

答 「住みたくなるまち日本一」を掲げ、その実現のため目指すべき施策として、17の公約を掲げました。今よりもっと暮

らしやすく、もっと町民の皆さまの声が届く町にしていきたいと思えます。

問 公約の実現に向けて取り組んでいきます。議員各位、町民の皆さまのご理解をお願いいたします。

問 町民バスの泉中央駅乗り入れの取り組みは。

答 宮城交通との調整等も必要なことから、先日

会社にお邪魔して、泉中央駅乗り入れについて検討を始めたので、相談に乗っていただきたいと申し入れをいたしました。

あらゆる角度で全体を見直し、乗り入れを検討してまいります。

問 新たな総合計画の策定はされますか。

答 総合計画の見直しは必要と考えています。

「住みたくなるまち日本一」実現の施策、市制移行に伴う新たな施策、また、これまでのまちづ

くりの継承などを行い、これからのまちづくりに向けて、総合計画の改定作業に入っていきます。

問 中長期の財政計画を作りますか。

答 町長が公約に掲げた事業、事業費ベースで精査をして、財源をどう確保していくかを含めた中

で、中長期の財政計画は必要と判断しています。

問 子育て支援複合施設の建設はどうしますか。

答 子育て支援施設は、身近なところにあつてほしいという声が多く出ています。1カ所に15億もの巨額の施設をつくるよりは、分散型でということとを今回、公約として選挙でも掲げさせていただきました。身近なところに、子育て支援施設を設けていくことを考えています。



山路 清一
議員

問 町民バス泉中央など地下鉄駅まで運行せよ

答 宮城交通と信頼関係を保ち検討・協議します

町長の政策や、施政方針のなかに、町民バスの

泉中央駅乗り入れがあり

な課題であり質問します。



▲ 富谷町民バス



森 栄 議員

問 政策が実現できない場合の町長の進退は

答 進退問題をこの時期に語ることは不適切

町長選挙で、初当選した若生裕俊氏は、泉中央

駅と町内を結ぶ町民バスの運行や仙台市地下鉄の延伸、高校生までの医療費の完全無料化や町民バスの泉中央駅乗り入れを1年以内に実現、敬老乗車券の利用を2年以内に実現を公約に掲げました。

しかし、予算の財源的な裏づけや各種事業の具体的な行程が示されておらず、公約や政策に対して、多数の住民が不信感を持っていて、公約及び政策全般について質問

に着手します。

答 泉中央駅からのライントレーン整備計画策定については。

問 泉中央駅からのライントレーン整備計画策定については。

答 泉中央駅からのライントレーン整備計画策定については。

問 泉中央駅からのライントレーン整備計画策定については。

答 泉中央駅からのライントレーン整備計画策定については。

問 高校生までの医療費完全無料化については。

答 18歳の人口を約1万2000人と試算し、年間約2000万円増加すると見込んでいます。

問 中学校の海外修学旅行の実現については。

答 今後、町民や保護者、学校関係者に意向を聞き検討したいです。

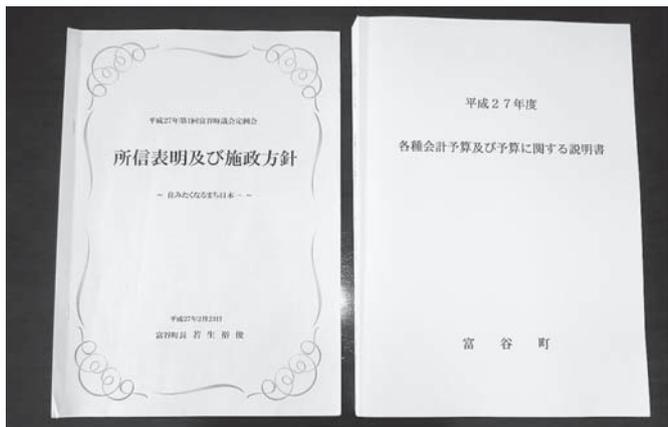
問 次世代型図書館建設の着手と文

問 地区ごとに分散型の児童館・乳幼児館の設置については。

答 詳細は、今後の検討となりますが、早急に具体化する考えです。

問 政策が実現できなかった場合のご自身の進退問題については。

答 進退問題をこの時期に語ることは不適切だと思っております。



問 政策にあげた理由は。多くの町民が、泉中央への乗り入れを期待しているからです。

問 実現に向けた大きな課題は。

答 宮城交通に、営業路線の公共交通として理解していただくことです。

問 その他考えている路線はありますか。

答 町民の意見を賜り、路線再編へ活かします。

問 町政懇談会で要望の路線はありますか。

答 泉中央駅への乗り入れ以外はありません。

問 実現に向けた対応策はありますか。

答 宮城交通の協力がなければ実現できないことで、十分な信頼関係を保ち、検討・協議することです。

問 市制移行に向け人選を進めます

市制に向け邁進している町に、副町長人事は取り組まなければならない大きな課題です。

以前のような騒動ごとのないよう慎重に対応した人選を期待します。

問 いつまでに副町長を決める考えですか。

答 早急に人選を進め、

町政の安定に努めます。

問 副町長人選の条件は何ですか。

答 行政組織や運営に精通し、職員との良好な関係性を担保できる能力、加えて積極的に町民の声に耳を傾けてくれる方で、男女にこだわりません。

とみや議会だより No.169

17 | 2015年(平成27年)5月1日



▲ 仙台市地下鉄泉中央駅バス停



菅原 福治
議員

問 仙台市並の敬老パスと
土日夜間のバス運行を

答 敬老パスは実現可能
バス運行早々に要望

町の最大の課題は、交通機能の整備です。新町長
通アクセスを含めた都市は、交通問題を掲げ就任

されまじつたの
で質問します。
問 仙台市が
実施している、
70歳以上の高
齢者が利用で
きる敬老無料
乗車バスを導
入しては。
答 町民バス
泉乗り入れよ
り先行して実
現可能と認識
しており、検
討していきま
す。

問 土・日の夜間10時以
降、地下鉄が走っている
にもかかわらず、バスの
運行が全くありません。

公共性や住民の利便性
について町の考えは。

答 公共交通のありかた
等実態調査を行い、運行
については早々に要望し
働きかけます。

問 仙台市地下鉄の富谷
延長とライトレール(次
世代型路面電車)の考え
方について質問します。

大きな課題では。
答 大きな課題であり、
道路網の再検討も含めて
取り組みます。

問 肝炎の早期治療に
行政と医療機関の連携を
医師会と連携し
情報提供に努める

現在、C型肝炎で多く
の方が亡くなっており、
早期発見と早期治療のた
めの、行政と医療機関の
連携を質問します。
問 C型肝炎患者が効果
的な治療を十分受けられ
ていないという認識は。

マスコミ報道で改め
て気づかされました。
問 行政と医療の連携は。
答 今後、医師会や関係
機関と情報提供の連携を
深め、町の広報などで、
一層の啓発に努めます。



渡邊 俊一
議員

問 地下鉄泉中央駅からの
路線延長を問う

答 具体的な内容にて
整備検討してまいります

新町長は有権者に対し、
1年以内に町民バスの泉
中央駅への乗入れと、地
下鉄泉中央駅からの路線
延長に、実現可能な設置
コストのライトレールの
具体的計画を策定すると
明言され、今回の町長選
挙で当選されました。

私も議会議員として、
町長のお父様である若生
照男町長の時代より、16
年間機会あるごとに、一
般質問等で何度となく、
泉中央より我が町への地
下鉄延伸を議論させてい
ただきました。
特に、平成19年から4
年間の議長職において、
宮城県と仙台市、そし
て黒川4力町村との合意
形成がなされていないな
か、今後どのような計画
のもと、国、県、仙台市
に理解を求めていくのか
質問をします。
問 町民バスの泉中央駅
乗入れを1年以内にス
タートさせるとしていま
すが、どのような手法か
質問します。



磯前 武
議員



▲ 仙台市地下鉄泉中央駅バスプール

問 泉中央駅から ライトレールの路線の延長は

答 路線の延長は実現不可能 BRTを含め検討

町長が、「このたびの選挙戦において、「掲げたこ

とは必ずやる」と発言されたことは、公約実現への、有権者に対する政治的責任の重大さを認識されていることと思います。

町民は新町長の手腕と力量に、大いに注目しております。

問 泉中央から路線延長に実現可能なライトレールの整備計画策定の手順について質問をします。

答 富山市のライトレールを一つの事例として捉え、7.4キロが総事業費58億円で実現できているので、私は実現可能と認識をしています。

問 泉中央から線路を敷設するわけです。地下鉄の車両とライトレールの車両は違います。路線の延長は、難しいと思いますがどうですか。

答 泉中央から地下鉄の路線延伸は、現実としてかなり厳しいと認識しています。国道4号線を越えて、富谷町内に入ってからライトレールの実現は可能と思います。乗り継ぎの手段の方策として、BRTも含めた検討も視野に入れながら、実現に向けて努力します。

問 泉中央からバスで富谷町、それからライトレールに乗り換える。むしろ混乱すると思いますが。

答 基本的に、町民の交通アクセスの利便性を図るために行う事業ですから、混乱は一切起きないようにつくります。

問 ライトレール整備計画の策定は、半年以内に出すべきと思いますが。事業計画を半年で策定するのは困難です。

答 パークゴルフ場の建設着手と、ホール数は、平成28年度着工、18ホールを想定しています。

問 敬老乗車券は、富谷町から泉中央、地下鉄を利用しての敬老乗車券を考えていますか。

答 仙台市民の方々も利用している敬老乗車券と同等に近いものを目指して実現をしていきます。

※BRT (Bus Rapid Transit) は、バス高速輸送システムのこと。

バス専用道路や常設の専用レーンを設け、一般道路における通常の路線バスよりも高速に運行し、定時性を確保しようとする輸送システムである。



▲ 仙台市地下鉄

答 具体的にどのようなことが課題であり、問題で、何をすれば実現可能か検討し、協議を行っていきます。

問 地下鉄泉中央駅からの路線延長に、実現可能な設置コストのライトレールの具体的計画を策定すると公約にしていますが、具体的な計画の考えを質問します。

答 各調査研究報告書を、現状に合わせた内容で検

答 真つ先に、仙台市と市議会の協力や理解がいただけるよう、私自身努力をしていきます。



▲ 2車体連接のLRV（車両外観）

このたび、17の選挙公約を1年以内から4年以内

に実現達成させますと町民に約束をして当選した町長が、選挙前どのような準備に、前町長の2期8年の実績や、厳しい富谷町の予算を研究し尽くし、「挑戦！新生とみや」住みよくなるまち日本

た町長が、選挙前に「寝耳に水」と言われるなど、まさに行き当りばつたりの公約であったことが露呈されてしまいました。当選さえすればあとは何とかなる、一城のトップに立つ人の公約がこんなことで良いのか。当然ながら公約に掲げた内容は期限内に達成可能でなければならぬはず。新町長の掲げた17の公約が万が一、本当に1年以内から4年以内

に実現可能であれば、我が町を要請しました。

問 町長のマニフェストは本当に実現可能か
答 関係機関と積極的に取り組み実現に向け努力



三浦 邦夫 議員

「一」を目指しますと宣言したのか、不思議に思い、楽しみでもありません。しかし、首長として掲げる公約は、町民に対する責任を持たなければいけないはずなのに、町長の答弁の内容は、ライトレールに関しては、当選決定してから国土交通省に初めて相談に行ったり、仙台市議会や仙台市長に「寝耳に水」と言われるなど、まさに行き当りばつたりの公約であったことが露呈されてしまいました。当選さえすればあとは何とかなる、一城のトップに立つ人の公約がこんなことで良いのか。当然ながら公約に掲げた内容は期限内に達成可能でなければならぬはず。新町長の掲げた17の公約が万が一、本当に1年以内から4年以内

問 妊産婦から子育て支援までの取り組みを問う
答 地域・行政が一体となり支援します



浅野 直子 議員

子育て支援センター機能と母子センター機能の一体化は、子育て家族にとつて相互に連携されま

す。今後、妊産婦から子育て支援まで、どのような取り組みに取られるのか。施設整備と児童クラブについて質問します。



▲ 福祉健康センター

問 町長の目指す



小川 昌義
議員

問 社会参加

外出支援に敬老乗車券

答 できるだけ早く実施と

思っている

問 敬老乗車券制度は、

社会参加と地域社会にお

いての活動を意欲的に

い、自己実現を図ること

を目的としていると思

います。仙台市と隣接する

地区では、地域格差を感

問 除雪機での通学路の

除雪拡大を

答 今年はじめて実施、経過を見て

問 小型除雪機6台購入

し、歩道除雪を行いま

したが効果が見えませ

ん。町内会などへの助成を

答 通学路の除雪は積雪

20 cm以上で実施、通学路

延長約

42・3 km、

除雪対象

区間延長

は約8.1 km

で、通学

路の割合

は約19・

1%とな

り、今年

の状況を

見ると修正が必要ですが、

現在の除雪区間で精一杯

です。今後は、町内会へ

問 情報化の専門組織づくりと

クラウド化を

答 検討課題とします

問 施政方針において情

報化の提起が少なかつた

のですが、先進地になる

ための施策として、職員

の教育、情報公開、専門

の組織づくり、そして経

費削減が臨まれますが考

えはありますか。

答 IT国家戦略におい

ても教育問題が提起して

おり、実施の方向で考え

ます。経費削減策は自治

体クラウド化を検討して

います。情報公開は積極

的に実施していきます。



▲ 除雪機

問 子育て支援複合施設

が見直しとなった理由は。

答 ニーズ調査や子育て

会議の中で、身近なところ

でサービスを向上して

いきたいと考えています。

問 福祉健康センターで

の健診や各種教室の開催

は、手狭であり落ち着い

て相談が出来ない状況で

あるため、その対応は。

答 同様に認識していま

す。身近な施設等中核的

な場所と両方を考えて早

く考えていきます。

問 緊急支援交付金の

使い道について

答 プレミアム付き

商品券の発行とします

問 全住民が対象ですが

低所得者への対策は。

答 低所得者の皆さまへ

も何らかの形で支援でき

るように検討しています。

その他の問

問 防災の取り組みについて問う

答 地域の防災力を高め

取り組みます



佐藤 聖子
議員

問 子ども医療費助成は負担金・所得制限なしで

答 一部負担金は平成28年度検討する

問 18歳までの子ども医療費助成は、一部負担金も所得制限も撤廃して実施すべきでは。

答 一部負担金導入から1年数カ月経過であり、実績等を確認・検証し、平成28年度にむけて検討します。

問 宮城県の子ども医療費助成は全国最

下位クラスであり、強力に拡充を求めるべきでは。

答 県には引き続き強く要請します。子ども医療費助成事業は、全国的な課題であり、国が全国的に支援すべき施策として要請していきます。

問 保育所待機児童は109人で、3歳未満児が77%です。特別の対策が必要ではありませんか。

答 認可外保育所の認可にむけた取り組みを支援する事業や、家庭的保育事業とあわせ、受け入れ

増加に努めていきます。

問 旧富ヶ丘北部会館跡に認可保育園を設置するとしていますが、保育室が2階、隣接しない園庭など保育施設としての条件が良くないので、再検討すべきではないですか。

答 待機児童の解消や町有財産の有効活用を考え、決定しました。安全対策は、横断歩道設置などに配慮します。事務的な手続等も含めもう一度確認し、検討します。

問 教育委員会制度の改定をどう考えるか

答 一般住民の意向に沿い進めるのは同じ

問 教育委員会制度を定める法律が改定されましたが、このことをどのように捉えていますか。

答 教育委員会制度は、憲法及び教育基本法と同

じようなときに発足したもので、一般住民の意向に沿った形で進めるという趣旨は、今度の改革でも当然、継続されるものと思います。

問 敬老パスの28年度実施を求める

答 早期実施めざし協議をすすめます

問 莫大な財政負担を伴うライトレール整備より、宮城交通バスの増便と運行ルートの改善が先決だと考えます。宮城交通にとってメリットのある方向で臨むことが、局面打開につながるのではありませんか。



永野 久子
議員



▲ 宮城交道路線バス



長谷川る美
議員



問 子ども子育て支援新制度の町の取り組みは

答 円滑な施行開始を目指し
全力で取り組みます

4月から始まる子ども子育て支援新制度のもと、子どもを産み育てる女性が安心して出産、子育て

ができる環境を整えることは、町が取り組むべき最優先課題であると考えます。

- 問** 子ども子育て支援新制度が円滑に施行できるような町ではどのような取り組みをしていますか。
- 答** 平成25年8月に富谷町子ども子育て会議を設置し、富谷町子ども子育て支援事業計画の策定を進めています。
- 問** 新制度導入により待機児童数は、どうなりますか。
- 答** 旧富ヶ丘北部会館の保育所整備や、認定こども園の設置も進め、保育ママを推進して待機児童ゼロを目指します。
- 問** 小学校敷地内への放課後児童クラブの設置が4校で見直されましたが、その根拠と施設整備の実施時期はいつですか。
- 答** 明石台小学校児童クラブの実施について検証し、児童館の建設も視野に再検討します。設置整備の時期は、早急に具体化する考えです。
- 問** 上桜木地域の児童の児童クラブ利用は、安全面や距離からも問題が多く、早期開設を要望しますが、町の見解は。
- 答** プレハブ建築の是非も考え、明石台小学校児童クラブの推移を確認した上で、早急に年度内の対応を考えていきます。
- 問** 今後さらに必要となる保育の人材確保のため、町はどのような取り組みをしていますか。
- 答** 正規職員の採用とあわせて、臨時・パート職員はハローワーク・町のホームページでの募集のほか、宮城県保育士バンクでの求人等も積極的に行っていきます。
- 問** 安心して出産、子育てができる環境づくりに対する町長の見解は。
- 答** 市制施行に向けて最大限安心して暮らせ、子育てができる町を目指し努力していきます。

宮城交通に対しては、その部分を最大限配慮して進める考えです。

問 敬老乗車券制度（敬老パス）について、町長は「2年以内に実施」としましたが、住民からは「もう待てない」という声が聞かれます。

答 私も一日も早くという声を聞いており、議員のお話のように、可能な限り早い実現に向けて努力いたします。

問 低所得者の国保税免除制度が必要

答 軽減措置が拡充されます

- 問** 国保制度の県一本化（広域化）で、医療費が相対的に低く、所得が比較的高い市町村は、重い拠出金を迫られます。本町は該当するものではありませんか。
- 答** 被保険者の所得水準が比較的高い本町の国保は、従来より拠出金の負担が重くなるのは事実です。しかし、県調整交付金を通じての激変緩和措置があり、財政支援が行われます。
- 問** 厚労省は、恒常的な低所得者対策を目的にした自治体への財政支援を強化しました。滞納世帯の平均所得が100万円3000円という現状からすれば、国保税免除を実施すべきではありませんか。
- 答** 低所得者に対しては7割・5割・2割の軽減措置があり、その対象となる判定がこれまでより拡充されています。



佐藤 克彦
議員

問 本町農業発展のための政策を問う

答 販売意欲を持つ生産農家の育成に努力する

本町農業発展の政策を農家とともに考え、実行する施策を期待し、次の質問をします。

問 ①生産調整田に、どのような栽培作物を導入し、指導するのか。②道の駅などで販売する農産物の生産拡大施策は。③農業後継者対策は。④農地維持管理事業は。⑤鳥獣害対策

はどう行うか。

答 ①生産調整の基幹作物の大豆、ブルーベリー、曲がりネギの需要も伸びています。JAあさひなと連携しながら、各種助成事業を活用して取り組みます。転作作物の推奨野菜がネギだけに関して問題はと思いますので、ほかの作物を増やすことを関係機関に働きかけ、努力します。②学校の米飯給食を増やすことも、努力します。今までの政策を継続し、おんないん会を中心に、販売意欲を持つ農家の育成に努めます。③農業後継者については、新規の就農者の事例も多いので、将来、経営として自立し、夢を持つて頑張れる環境づくりに対応していきます。④農地維持については、施設の維持・修繕に必要な資材支給を行い、農家負担の軽減を図ります。固定堰の老朽化は、担当課と相談し対応します。⑤鳥獣害については、農作物を守るだけでなく町民の生命財産を守ることに努め、関係機関・団体と連携し対応していきます。

問 古い町内会館の建てかえは

答 複数の会館建設に向け努力します

問 築45年以上の、古い町内会館の改築の時期を、早くする施策をどのように考えますか。

答 予算を確保し、年1カ所にこだわらず、複数の会館建設に向け、整備に努めていきます。

議会を傍聴してみませんか



次回の定例会は6月上旬開会の予定です。
詳しくは議会事務局へお問い合わせください。TEL 358-0622



▲ 黒川消防本部 富谷出張所



安住 稔幸
議員

問 富谷出張所の救急隊の追加配備を強く働きかける

昨年9月に黒川地域行政事務組合の議員全

員協議会で、富谷町の人口増加を踏まえ、黒川消防本部の消防力整備計画が示されま

した。

富谷町内の救急車の出動は毎年増加傾向です。計画では翌28年度に、富谷出張所の救急2隊の運用等という内容でした。

しかし、黒川地域行政事務組合協議員の同僚議員から、計画の見直しを求める発言が

あり、救急隊の追加配備計画は、現在、全く先が見えない状況となっております。

昨年、黒川郡内の救急車の出場件数は3322

件であり、そのうち富谷町内の出動は、1496

件で、45%です。またそのうち、富谷出張所の富

谷救急隊が出動したのは1084件で70%です。

出動要請が重なったときは、大和町、大郷町、大衡村から駆けつけます。20分から30分かかります。

富谷町の救急隊の追

加配備は、一日も待てない状況です。何をさておいても優先すべき課題で、直ちに取り組むべきで、質問します。

答 町民の安全・安心を守るという消防責任は重要であり、市制移行を控え、質の高い住民サービスを今後も提供していかねければならないと思います。自治体は、消防組織法により区域における消防を十分に果たすべき責任を有しています。黒川地域行政事務組合へ強く働きかけてまいります。

その他の質問

問 町長等の退職金は廃止または減額せよ

答 常識的に異常な金額だと思っ
対応を検討する

その他の質問

問 学校給食費を2人目は半額
3人目は免除を

答 子育て支援の一環として
検討課題とする

富谷町議会のインターネット録画配信をしています

富谷町議会録画中継 URL

<http://www.tomiya-town.stream.jfit.co.jp/>

富谷町議会インターネット

検索

富谷町議会インターネット中継
TOMIYA TOWN ASSEMBLY INTERNET STREAM

文字サイズ 小 中 大

富谷町議会ホームページ 富谷町ホームページ

トップページ 会議名でさがす 議員名でさがす ことばでさがす

録画中継

- ▶ 会議名でさがす
会議名の一覧からさがします
- ▶ 議員名でさがす
議員名の一覧からさがします
- ▶ ことばでさがす
言葉に該当する会議をさがします

ご利用について

- ・動画中継をご覧になるには、Microsoft社のWindows Media Player (無償)が必要ですが、
- ・この動画中継(映像および音声)は、富谷町議会の公式記録ではありません。
- ・動画中継を多数の方が同時にご覧になった際に、映像が表示されない場合があります。
- ・各ページに記載の文章、写真、音声、動画等の無断転載を禁じます。
- ・詳しくは「ご利用について」をご覧ください。

お問い合わせ

富谷町議会事務局
〒981-3392
宮城県黒川郡富谷町富谷字坂松田30番地
TEL: 022-358-0622
FAX: 022-358-2280
Mail: gkal@town.tomiya.miyagi.jp

このサイトの全ての著作権は富谷町議会が保有し、国内の法律または国際条約で保護されています。
Copyright (c) TOMIYA TOWN ASSEMBLY. All rights reserved.

よりよい町づくりのために

調査 しました

各委員会で、
平成26年12月から
平成27年2月までの
議会閉会中に
調査をしました。

各委員会の説明

総務常任委員会…町の財政、町税、防災、まちづくり、環境衛生等について調査や審査をします。
教育民生常任委員会…教育、子育て、福祉、健康保険、介護保険等について調査や審査をします。
産業建設常任委員会…産業振興、道路、河川、都市整備、上下水道等について調査や審査をします。
市制移行調査特別委員会…市制移行について調査や研究をします。

公営墓地整備に関する 有識者懇談会の設置を

調査先：総務部町民生活課

総務常任委員会



◎調査日 1月19日
町内にある寺院墓地等の状況と、公営墓地の検討状況について調査しました。町民生活課から、町内寺院墓地内の空き状況及び公営墓地に関する懇談会の計画などの説明を受けました。

各委員より、「町の墓地すべてが曹洞宗である」「空き区画はあるが、一つの寺に片寄っている」「有識者による公営墓地に関する懇談会の早期実現」等の意見が出されました。

将来的な需要を把握し、既存墓地との調整を図っていく必要があります。今後は、墓地の現状、将来の墓地情勢、公営墓地の考え方等について有識者等による懇談会を実施し、墓地構想及び整備計画等の参考意見を聴取する必要があります。

これからは、人口増加と高齢化の進行に伴って、墓地の需要も高まっていくものと予想されます。

支援事業 「施設から在宅へ」

調査先：福祉部長寿福祉課

◎調査日 1月28日

富谷町高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画と障がい者計画・第4期障がい者計画を調査しました。

介護保険事業計画には、
①地域包括システム構築
②施策サービスの重点化
③費用負担の公平化があげられています。



特別養護老人ホームへの新規入所者が平成27年4月から、原則、要介護3以上に限定されます。

介護保険の改革は、医療・介護一体として「医療から介護へ」「施設から在宅へ」の方向がはつきりしてきたこと、社会保障の考え方として「自助・

互助・共助・公助」を基本にしています。

調査段階では、介護保険料は未定でした。障がい者計画は、障がい者が住みなれた地域で安心して過ごせるまちづくりを基本理念に取り組んでいくとしています。

造成工事順調に進行 コストコ10月より工事着工

調査先：高屋敷土地区画整理組合
企画部産業振興課

◎調査日 2月13日

高屋敷地区の造成工事は、冬場の作業ですが、順調に進んでいました。切土・盛土などの工事により発生した残土は、隣接の水田のかさ上げに利用、搬出土は無いとの説明を受けました。

現在、決定した立地企業はコストコ1社ですが、各方面からの問い合わせも多くあるとのこと。コストコ開店予定が来る春なので、今後、通行車両など近隣団地との安全面での解決策が課題です。

従業員採用については、町民優先の雇用確保に向けた対応策が必要です。富谷町は、宮城県東京事務所に職員1名を派遣し、企業誘致活動をしています。職員・議員一丸となり、町長のトップセールスをすすめなければなりません。

今、企業誘致促進を図るため、新たな奨励金の拡充を検討しています。

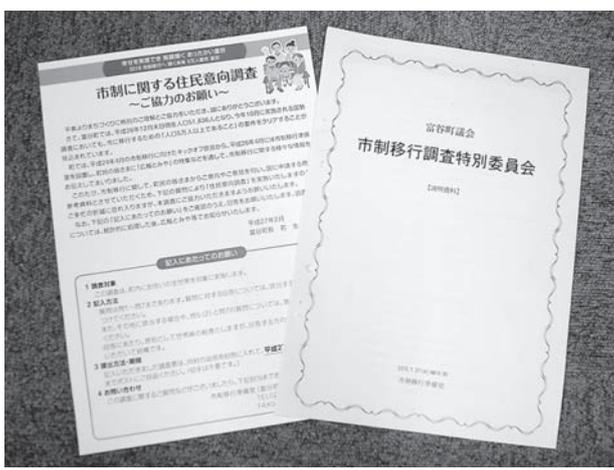


市制移行調査特別委員会

市制に関する住民意向調査を 2月に実施

調査先：企画部

◎調査日 1月27日
市制移行の進捗状況及び計画について、企画部より説明を受けました。今後のスケジュールは、2月に市制に関する住民意向調査を実施します。市制移行申請書事前準備とともに、公民館単位に地区懇談会を開催。10月に国勢調査の実施、人



口集計速報が出次第、諸手続きをすすめるため、市制移行日はまだ未定です。「町が市になるための要件」を定めている県条例に対する県との打合せでは、第5条の「当該普通地方公共団体の前年度予算総額を全人口で除して得た額が、県の区域内における他の市と比べて概ね遜色がないこと」という条項が、県内の全市で本町より高い予算額となっており、今後、県との調整が必要です。

議員全員協議会を開催しました

1月9日
〔協議事項〕

議員定数について
全議員からのアンケート結果をもとに協議し、次回改選時は、現状維持の20人と決定しました。

2月18日
〔協議事項〕

- ①富谷町議会委員会条例の一部改正について
本年4月1日からの教育委員会制度の変更に伴う改正・議会運営委員会の委員定数、条文文言の整理案について協議、決定しました。
- ②その他
 - ・議席の変更について
2人の議員が増えたことに伴う変更について協議し、会派重視で議席を決定しました。
 - ・常任委員会委員の選任について
欠員2人枠の補充を協議しました。

2月26日
〔執行部からの説明〕

- ①富谷町東日本大震災復興特別区域法第28条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について
- ②富谷町企業立地促進条例の一部改正について
上記の2条例とも、高屋敷工業団地に係るもので、緑地面積確保の緩和と、用地の取得に対する新たな奨励金交付制度を設けるものです。

3月6日
〔執行部からの説明〕

- ①富谷町の地域包括支援センター事業における人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- ②富谷町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について
- ③富谷町介護保険条例の一部改正について
- ④富谷町子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について
- ⑤富谷町保育所条例の一部改正について
- ⑥富谷町立幼稚園授業料徴収条例の一部改正について
①、②は地方分権第3次一括法の施行に伴い、介護保険法の定めにより、新たに条例を制定するものです。③は介護保険の保険料額等の改正を行うものです。④は助成対象年齢を15歳から18歳に引き上げる改正を行うものです。⑤は児童福祉法の改正及び子ども・子育て支援法の施行に伴い、町立保育所の保育料等の改正を行うものです。⑥は子ども・子育て支援法の施行に伴い、町立幼稚園の授業料等の改正を行うものです。

町民の皆さまと議員との 意見交換会を開催しました

平成27年3月26日(木) 18:30~20:30 東向陽台公民館



富谷町議会基本条例では、議会報告会または意見交換会等の開催を定めています。昨年度は、議会報告会を開催しましたが、今回は、町民の皆さまと議員との意見交換会を開催しました。

町民51人の方々が参加され、「市制移行」をテーマに、多くのご意見をいただきましたので、今後の議会活動に生かしていきます。

富谷町議会は、これからも開かれた議会を目指してまいりますので、よろしくお願いいたします。

皆さまからの「ご意見・ご要望」(紙面の都合上、一部を要約掲載)

○多くの町民は、おそらく、市になったら多分いいんだろうなと、そんな感覚でいると思います。市制移行にかかる経費はいくらか、権限の移譲で住民の生活が変わるのか、具体的な中身と数字を、住民サイドに立った情報を1日も早く提供してもらいたい。そうでなければ住民は判断できない。

○町が開催予定の住民懇談会で、情報提供すること。情報の共有をしない

とまちづくりは全然進みませんよ。

○富谷町も30年後は一気に高齢化します。その時、町の運営はどうなるのだろう。非常に懸念しています。悪くなった時に備えた投資をすべきだと思います。施設の長寿命化など、将来に備えて準備すべきです。順調な時に進めないといずれ、できなくなると思います。

○仙台のベッドタウン化には絶対避けてほしい。これには若い人を定着させる施策が必要です。若い人の職住を考えるとほしい。富谷町は、住は良いんですが、職場がない。企業

が少ない。あってもほとんど小企業なので、大手企業を誘致する攻めの姿勢でお願いします。

○市制移行により、福祉事業等の職員の増員にかかる経費ですが、市制移行をしなければ、その経費は他の行政サービスに使えるのでは。これは市制移行のデメリットではないですか。

○市になれば、土地の価値が上がり、固定資産税も上がるのでは。

○黒川郡内で、なぜ富谷だけ市になろうとしているのか。黒川郡で市になれば企業収入などで、良い市になると思います。

○「道の駅」のようなものをつくり、町内外から足を運んできてくれる、魅力ある富谷町にしてから、市に移行するのがいいと思います。

○住民参加を基本にするまちづくりとして、住民参加を保証する「まちづくり基本条例」の制定を、町に働きかけてください。

○意見交換会の開催にあたり、事前に質問したいことを受け付けてはどうですか。意見交換会の進行もスムーズになり、議会と町民との対話ができると思います。

アンケート集計結果

(参加者51人、うちアンケート回答者数41人)

- 参加者の性別
男性 31人 女性 10人
- 年代別
30代 1人 60代 13人
40代 1人 70代 21人
50代 5人
- お住まいは

明石台や東向陽台などの南部地域からの参加者が多い。

参加しての感想(抜粋・要約)

- *このような機会は大切なので続けてください。
- *議員と交流できる機会を増やしてほしい。
- *質問事項を事前に受けて回答できるようにしてほしい。
- *今日の意見が反映されることを望む。
- *町民の貴重な意見、市制に生かしてほしい。
- *今後もテーマを示しての意見交換会に。
- *各公民館で実施してほしい。
- *住民の意見、活発で大変意義ある話だった。



シリーズ①

未来へはばだけ
とみやっ子

明石台わが葉保育園

明石台わが葉保育園は、スマート「モンシティー」にあり開園3年目の子育てニーズが期待されている若い保育園で、人と人との繋がりをとても大切にしています。

年10回の「わかば劇場」には、人形劇や歌・ピアノのコンサート等があり、地域の乳幼児親子も観にきます。

毎月恒例の大学生ボランティアさんによる紙芝居も楽しみで、お話のあとは、一緒に遊んでもらいます。

食育活動も盛んで、自家菜園の栽培活動は種蒔きから収穫まで自分たちの手で行い調理し、食べます。昨年、シヤガイモやサツマイモは大豊作で、地域の方々に手伝ってもらい落葉焚きして、焼き芋にして食べました。ちよっと焦げ目のついたアツアツの焼き芋を秋風



を感じながらほおばりました。

また、核家族化が進み少子化の流れの中で、味わうことの少なくなった異年齢グループ活動を、保育の中に取り入れています。異年齢交流は、クラスを超えてのコーナー遊びから始まり、3・4・5歳児の縦割りグループ活動、3歳以上児クラスと3歳児未満児クラスとの交流保育、年長児が各クラスに出向く交流と様々な形で展開されます。

保育園という0歳から6歳までいる集団のメリットを最大限に生かして、「心身共に健康で豊かな人」としての土台づくりをしています。

みんなの広場

絆を大事に

中鉢 泉さん (上桜木)

私たちは、双子が生まれたことをきっかけに、夫の実家に近い富谷町に7年前に越してきました。当時はまだモデルハウスだらけだった上桜木に越してきたとき、赤ちゃんだった2人も



あっという間にもう2年生になり、まわりの景色もだいぶ変わりました。今年の1月には第三子も生まれ、家族が増えてますますにぎやかな我が家ですが、そんな中、上桜木で町内会の副会長を2年間させていただきました。町内会の皆さんとのふれあいや、近隣町内会の皆さんとの行事、忙しくも大変充実した2年間でした！皆さんとの絆を大事にしなが、富谷での充実した生活を今後も送りたいと思います。

その上で富谷町に要望することとして、来年復職する際に保育所に入れるように待機児童の解消と、子どもが具合悪くなる時は夜間ですので、夜間救急の小児科医の確保を、子どもを持つ親として強く要望いたします。育児のよりしやすい富谷町にこれからはなってほしいと思います。

編集後記

2月の町長選挙により「若生裕俊」新町長誕生となりました。17の公約を掲げ、すべての公約を果たそうと、平成26年度補正予算、平成27年度予算をはじめ、今までの各種行事の見直し、新たな改革等、2月から3月に

かけての定例議会は、いつもより活発な討論がかわされました。

富谷町の8校目となる新しい小学校「明石台小学校」も4月から開校になり、ますます、伸びゆく富谷町に成長してまいりました。そして、「来年は市制移行」まさしく日の出の勢いの富谷町で

す。私たち議員は、富谷町のますますの発展の為に、また、町民の皆様のために、さらなる努力をいたします。また、議会広報誌も、読みやすさとかわりやすさを追求し、広報委員一同、一生懸命取り組んでまいります。よろしくお願いたします。

広報委員 三浦 邦夫